

# ジェネリック医薬品を 活用しましょう



## 1. ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品とは、低価格なのに、安全性や効き目は新薬と同等と認められている後発医薬品のことです。新薬（先発医薬品）の独占販売期間が終了した後に発売が許可される医療用医薬品のことをいいます。欧米では有効成分の一般名（generic name）で処方されることが多いため「ジェネリック」と呼ばれています。

安全性も品質もほぼ同じで薬代が節約できるため、年々増える国民医療費の節減にもつながります。今まではすべて医師まかせだった薬選びに、患者も参加できるようになりました。自分が使うお薬だからこそ、医師や薬剤師さんと相談しながら一緒に選び、ジェネリック医薬品で薬代の負担を軽くしませんか？

## 2. 安全性は大丈夫？

ジェネリック医薬品は、新薬と同じ主成分のもとで開発・製造されています。新薬と同様の安全基準を満たしており、厚生労働省のジェネリック医薬品承認基準をクリアしている信頼できる薬です。

## 3. ジェネリック医薬品にするとなぜ安くなるの？

新薬には長い開発期間と大きな開発経費がかかっています。これに対し、ジェネリック医薬品は新薬ですでに治験済みの有効成分を使うため、開発期間も経費も少なく済み、価格が安く設定できるのです。しかも、安全性や品質はほとんど新薬と同等で安心して使用できます。慢性疾患などで日常的に薬を服用している人や複数の薬を服用しなければならない人は、ジェネリック医薬品を選ぶと、先発医薬品との薬代の差額は大きなものになります。ジェネリック医薬品によって、国民全体の医療費も軽減されることが期待され、国をあげて使用促進が進められています。

## 4. どのくらい安くなるの？

比べてみると・・・例えば、脂質異常症の薬を1日1回、1年間服用する場合

○先発医薬品1錠あたり価格124.40円

○ジェネリック医薬品1錠あたり価格60.40円

	患者負担1割	患者負担3割
先 発 医 薬 品	4,380円	13,140円
ジェネリック医薬品	2,190円	6,570円
差 額	2,190円	6,570円

※調剤に伴う技術料は含んでいません。

※医療用医薬品の値段はすべて公定価格（薬価）で決められています。左は脂質異常症の先発医薬品とジェネリック医薬品を例にあげ、それぞれの薬価（平成21年4月1日現在）をもとに計算しています。

## 5. まずは、かかりつけのお医者さん、薬剤師さんに相談しましょう

ジェネリック医薬品は一般の薬局で購入できる市販薬でなく、処方せんが必要な薬です。ジェネリック医薬品を希望するときは、まず医師に「私の薬はジェネリック医薬品に変更できますか？」と相談し、その選択や使用方法については薬剤師と相談してみましょう。短期間だけジェネリック医薬品に切り替える“お試し調剤”から始めることもできます。

